

| 会 議 録                     |   |
|---------------------------|---|
| 会議の名称                     | 平成27年度第1回清須市地域公共交通会議  |
| 開催日時                      | 平成27年6月26日（金）<br>午後2時5分から午後4時3分   |
| 開催場所                      | 清須市役所本庁舎3階 大会議室   |
| 議題                        | 1 開会<br>2 あいさつ<br>3 議事<br>[報告事項]<br>(1) 清須市地域公共交通会議委員の構成について<br>(2) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について<br>(3) 清須市レンタサイクル事業の実施状況について<br>[協議事項]<br>(1) 平成27年度清須市地域公共交通会議スケジュール（案）について<br>(2) 清須市生活交通確保維持改善計画（案）について<br>(3) コミュニティバスアンケート調査の実施（案）について<br>(4) コミュニティバスの利用促進策（案）について<br>4 その他<br>5 閉会                                       |
| 会議資料                      | 会議次第、配席図、委員名簿<br>[会議資料]<br>資料1 清須市地域公共交通会議委員<br>資料2 コミュニティバスの運行・利用状況概要<br>資料3 レンタサイクル事業の実施状況<br>資料4 清須市地域公共交通会議スケジュール（案）<br>資料5 清須市生活交通確保維持改善計画（案）<br>資料6 コミュニティバス利用者・非利用者アンケート調査（案）<br>資料7-1 コミュニティバス利用促進イベント事業報告<br>資料7-2 平成27年度コミュニティバス利用促進実施計画（案）<br>[参考資料]<br>(1) 清須市地域公共交通網形成計画（抜粋）<br>(2) 平成27年6月清須市議会定例会一般質問の報告（要旨） |
| 公開・非公開の別<br>（非公開の場合はその理由） | 公開  |
| 傍聴人の数<br>（公開した場合）         | 1人  |
| 出席委員                      | 前田（繁）委員、山田委員、谷野委員、佐野委員、伊藤   |

|  |  |
|--|--|
|  | 委員、林委員、後藤委員、加藤（榮）委員、宮崎委員、加藤（博）委員、古橋委員（代理）、小久保委員（代理）、古田委員、河合委員、前田（秀）委員、石田委員 |
| 欠席委員   | 小澤委員、平松委員、近藤委員、堀田委員、多田委員、葛谷委員  |
| 出席者（市）   | なし   |
| 出席者（会長が必要と認める者）  | なし   |
| 事務局  | （企画政策課）<br>河口企画政策課長、忠内副主幹、岡田係長、小出主査、横井主事                                   |
| 会議録署名委員  | 山田委員、谷野委員  |
| <p>1 開会</p> <p>●岡田係長<br/> 本日は、お足元の悪い中ご出席賜りましてありがとうございます。<br/> 定刻を過ぎておりますが、ただ今から、平成27年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。<br/> 私は、企画部企画政策課の岡田と申します。本日の司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。<br/> それでは、会議に先立ちまして、前田会長にごあいさつをいただきます。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>●前田会長<br/> 定刻を多少過ぎておりますが、会議を始めたいと思います。<br/> 本日は、委員の皆様におかれましては、お足元の悪い中、会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。<br/> また、日頃より、あしがるバスの運行にご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。今後とも一層ご協力いただくことをお願いいたします。まして、あいさつに代えさせていただきます。</p> <p>●岡田係長<br/> ありがとうございます。<br/> 続きまして、本日の会議の出席状況について報告いたします。<br/> 欠席のご連絡をいただいている委員は、住民代表の小澤委員、平松委員、また第4号委員の尾張建設事務所維持管理課長の近藤委員、第6号委員の清須市企画部長の葛谷委員の4名でございます。<br/> なお、第3号委員の愛知運輸支局の古橋委員におかれましては白木様に、続いて、第4号委員の愛知県振興部交通対策課の小久保委員におかれましては浅田様に、代理でご出席いただいておりますのでご報告いたします。</p> |  |

それでは、これより議事に入りますが、ここで、議事運営につきましてお願いを申し上げます。

会議での発言方法について、会議で発言していただく際には、必ず、挙手をお願いいたします。会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その際、ご自身のお名前をおっしゃっていただき、ご発言していただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、この後の議事進行は会長の方でお願いいたします。

### 3 議事

#### ●前田会長

それでは、これからは私が会議の取り回しをさせていただきます。よろしくよろしくお願いいたします。

始めに、会議録署名委員を指名します。本日の会議録署名委員は、座席順に山田委員と谷野委員にお願いします。

議事に入りますが、本日は報告事項が3件、協議事項が4件となっております。

それでは、報告事項（1）の「清須市地域公共交通会議委員の構成について」事務局から説明をお願いします。

[報告事項（1）について事務局から説明]

#### ●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関して、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

[特に無し]

#### ●前田会長

ご質問も無いようですので、報告事項（1）に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、報告事項（2）「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び（3）「清須市レンタサイクル事業の実施状況について」の説明を事務局からお願いいたします。

[報告事項（2）（3）について事務局から説明]

#### ●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関して、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

#### ●山田委員

山田です。

報告では、グリーンルートの利用者数が減少となり、サクラルートへ移行したとのことですが、私はそうは思いません。

ルート改正後、グリーンルートの所要時間が長くなりました。

私も孫と一緒に乗りますが、清洲地区から天水公園まで40分ぐらい掛かります。最近、東町公民館の方が早いので、そちらで降りるようになっていますが、私はサクラルートに移行した感じは受けていないのですが、事務局の考えはどうでしょうか。

●小出主査

前回のルート・ダイヤ改正時に、サクラルートに芳野公園北のバス停を新設しました。

そして、一定期間後にその近辺のバス停の杵西町集会所北、二ツ杵駅前郵便局南、西枇杷島福祉センター、二ツ杵駅東、東町公民館の乗降者数を調べたのですが、以前に比べて減少していました。

また、サクラルートが基幹系ルートであり、利用しやすくなったため、利用者が移行したのではないかと考えてたところです。

●山田委員

山田です。

私は、どうもそれが腑に落ちないのです。

まず、コミュニティバスの認知度が下がってきていると感じています。

なぜなら、孫が小学校で「コミュニティバスに乗ってじいちゃん家に行くよ」と言うと、友達の8割は「コミュニティバスって何？」って言うらしいです。

加藤先生が以前おっしゃっていましたが、「各小学校でバスの乗り方を教えたらいんじゃないか」という貴重なご意見が、実践に移されていないところに問題があるのではないかと思います。

●小出主査

コミュニティバスの乗り方教室につきましては、網形成計画の中でも利用促進の一つとして盛り込んでいます。

そして、平成28年度実施予定なので、今後の第2回、第3回の地域公共交通会議においてご協議いただきたいと思います。

●前田会長

他によろしいでしょうか。

〔特に無し〕

それでは、加藤先生に報告事項全般の総括を含めまして、ご講評いただきたいと思います。

●加藤副会長

利用促進についてですが、やれることは早くやったほうが良いと思います。

名鉄バスでは、子ども用の利用促進のために準備ができていて、子ど

もさん用の運転手の制服を用意するなど、自治体から頼まれたらすぐに実施出来るように準備しています。

つばめ自動車が、どういう体制なのかは分かりませんが、子ども用の利用促進は、かなり一般的になっていて、名鉄バスがおっしゃるには、確実に利用者を増やせるし、バスの認知度を上げられるとのこと。その実績があるからこそ、このように社内の状況を整備したとのこと。これは、名鉄バスだけでなく、全国的に大手の企業は実施しているとのこと。

清須市は、網形成計画の中で利用促進を実施していくということで、つばめ自動車とも協力して実施して欲しいです。

利用者の移行についてですが、委員からの質問が出て、改めてルート図を見ると、東町公民館に乗り入れたために湯吉郎までがすごく遠くに感じます。先に湯吉郎まで行って、それから枇杷島地区の方へ行った方が良いような気がします。県営新川住宅は、以前から利用が多いところなので、そこからヨシヅヤへ行くことを考えたら、むしろその方が良いかもしれないですね。これは今後の課題としたいと思います。

そして、もちろんサクラルートが便利になったということも減少理由であると思います。ルートもそろそろ落ち着くと良いですね。

清須市の場合は、3ルートがほぼ同じところを通っているの、それぞれのルートだけで論じてはいけないと思います。

今のグリーンルートは、元々利用者が多いルートですので、今後、まだ増やせる要素はありそうだと感じますし、バスの知名度が下がってきているのではないかというのも重要な指摘ですので、利用促進で実施出来ることは実施して欲しいと思います。

私の意見としては、平成27・28・29年度はバスの知名度を上げるための利用促進を積極的に実施して欲しいです。

レンタサイクルについてですが、1日当たり利用者数の目標が3人というのは低い目標ですね。利用者の意見を見る限りでは、もっと需要がありそうですが、知らないんでしょうね。

新清洲駅で貸出を行っているの、名鉄に依頼をして、清洲城など清須市の観光スポットに名鉄で来てもらって、レンタサイクルを使っただけというPRをしてもらうことです。

このレンタサイクルは、市民にPRしても効果は無いので、他市の方々にPRしないといけないです。

ですので、一番有力なのは名鉄に協力してもらうことかと思っています。レンタサイクルを使っただけ、利用者に「意外と便利だね」と感じてもらおう機会を設けることで、まだまだ、レンタサイクルの利用促進策はたくさんあると思います。

●前田会長

他にご意見ありますでしょうか。

●加藤（榮）委員

加藤と申します。

以前は、サクラルートの所要時間が長かったのですが、今はヨシヅヤ

へ行くのにサクラルートが一番便利です。

サクラルートが便利になったことをPRしていただきたいと思います。

また、あしがるバスをもっとPRして欲しいです。高齢者で組織されるクラブがたくさんあるので、そういった団体にチラシを配るなど行うと良いと思います。

●小出主査

以前から、加藤委員より「高齢者のためにチラシをもう少し見やすくした方が良い」など、ご意見をいただいております。

後ほど利用促進の中で説明をさせていただくのですが、モデルコースのチラシなどを作成し、配布したいと考えています。

●宮崎委員

バスを乗り降りするときに、バスのステップと道路に段差があり、お年寄りにとっては乗りにくいと思います。

●小出主査

運行事業者であるつばめ自動車と相談して、出来る限り乗降の際にお手伝いし、乗り降りしやすいようにさせていただきたいと思います。

車椅子の方も運転手に申し出ていただければ、乗降のお手伝いをさせていただきます。

●前田（秀）委員

あしがるバスの認知度向上に関して、あしがるバスの運転手ができることを申し上げます。

例えば、運転手の制服について、目立つものや親近感のあるものなど、会議の中でご要望があれば、安全運行第一に、業務に支障がない範囲で実施させていただきたいと思います。

●前田会長

他に各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

〔特に無し〕

●前田会長

ご質問も無いようですので、報告事項（２）（３）に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項（１）「平成２７年度清須市地域公共交通会議スケジュール（案）について」の説明を事務局からお願いいたします。

〔協議事項（１）について事務局から説明〕

●前田会長

ただ今の事務局からの説明に関しまして、各委員さんからご意見、ご

質問等がありましたらお願いします。

〔特に無し〕

よろしいでしょうか。

それでは、議事（１）に関しまして、加藤先生からご講評いただきたいと思えます。

●加藤副会長

資料４については、あまりにも型どおりだから無機質に感じます。

私が今、何を考えていたかというところ、この会議の良いところは意見がたくさん出るところです。

その一方で、毎回感じておりますが、委員の意見をきちんと事務局で消化しきれていないところに問題があると思えます。

スケジュールは資料のとおりですけど、先ほどつばめ自動車から意見が出ましたが、運転手の制服を変えるアイデアは良いですね。

この会議で出た意見について、次回会議の際に経過報告することは大事だと思えます。

それが、この資料にある利用促進や啓発になるので、そのサイクルをしっかりとやって欲しいです。

会議録は、会議において何が決まったかを確認するのも大事ですが、それに加えて、前回、何を話し合っ、何をやることにしたのか、そして、それがきちんとやれているかを確認していかなければならないと思えます。

この会議でいつも思うのは、同じことをいつも言っているのに変わらないということです。会議録にこういう意見があったということを確認して、きちんと利用促進などをやっていって欲しいと思えます。

●古田委員

古田といいます。

前回欠席したので理解していないことがあるのですが、来年３月にルート・ダイヤ改正を実施することなのですが、どのように改正するか教えていただきたいです。

●小出主査

ルート・ダイヤ改正の一般的なスケジュールについてですが、８月にアンケートを取りまして、その結果を踏まえて、運行事業者・警察・道路管理者等の関係機関と調整をとらせていただきます。

その後、１１月ぐらいに、公共交通会議で協議をいただきまして、運輸支局への申請に移ります。

そして、３月にルート・ダイヤ改正を実施させていただく予定です。

●岡田係長

補足でよろしいですか。

今の質問の中で、昨年度第３回の会議において、清洲地区の一場バス

停に係るルート・ダイヤ改正の案を出しておりました。

しかしながら、会議直前に周辺道路工事の情報が入りまして、工事の進捗状況をみながら、平成27年度末にルート・ダイヤ改正を検討するため、報告させていただきました。

●前田会長

他によろしいでしょうか。

●加藤（榮）委員

加藤です。

平成28年8月に「清須市公共交通に関する意識調査（仮称）」があります。

来年度の話になりますが、西枇杷島地区の三菱重工業の社宅が2棟建つそうです。

この社宅に独身者なのか家族が入るのか分かりませんが、社宅またはこの付近にバス停を設置するように検討していただきたいと思います。

●河口課長

西枇杷島地区における三菱重工業の社宅の話が出ました。清須市にも、その情報は入ってきております。

しかしながら、かなり的人数が入ってくるのは想定されますが、家族構成がどうなのか、総勢何名の方が入ってこられるかなどの細かい情報はまだ把握できていないという状況です。

それ以外にも、市全体としては、大規模店舗、病院などが新設予定であることを把握しておりますので、コミュニティバスのバス停につきましても、併せて検討していきたいと思います。

もう一点、網形成計画の中で、平成29年度に大幅なルート・ダイヤの見直しを予定しておりますので、それに向けて、それらの案件一つひとつを踏まえて検討していきたいと考えております。

●前田会長

他にありますでしょうか。

●加藤副会長

特に、大型店舗などの施設等の新設の際、大型店舗へのバス停新設の申し出が遅いとバス停を設置できないことがあります。

申し出が遅くなり、後からバス停を造ることになると、「駐車場だから危険」、「スペースが無くて、停留所の施設が作れない」など弊害が出ることがあります。

しかし、あまりにも早くに大型店舗に対して申し出をすると、バス停設置の確約になるので、店舗側がバス停設備を作ったは良いけど、今度はこちらが後で「やっぱり乗り入れられなかった」となることもあるかもしれません。従って、バス停設置の確約はせずに、早い段階で話をしていくことが大切です。

例えば、トヨタ自動車の社宅は自動車を保有することを禁止にしてい



るので、三菱重工業の社宅が独身寮であっても、実はバスの需要が高いと考えます。

逆に、家族中心の寮となると自家用車で移動することが多いため、バスの需要が低くなります。

結局のところ、そういった情報を集約し、早い段階で動いていくことが大切です。

最近では、環境問題やCSR（経営者が企業を社会的存在として運営していく責任）などの観点で、積極的にバス停を設置して欲しいという企業が多いので、今後はオープンに交渉していただけると良いと思います。

そのような話は、都市計画課にも関係してくると思います。残念ながら、大型店舗、病院等の新設については、網形成計画や市総合計画などの計画サイクルとは無関係なので、あまり計画にはこだわりすぎると良くないと思います。

#### ● 河口課長

今の加藤先生の話を受けまして、社宅の人数については1,000人規模である情報が入っています。

かなりの規模ですので、公共施設、小・中学校、保育園、ゴミなどの行政運営に影響が及ぶものです。

今後、市全体で話し合いを進めることになっておりますので、併せてコミュニティバスバス停設置も検討していきたいと思います。

#### ● 佐野委員

本日で委員を辞めさせていただきますが、発言させていただきます。

この会議の開催のスケジュールの中で、公共交通網形成計画という記載があります。

先回の会議の中で、加藤先生から「清須市もユニバーサルタクシーが必要だ」というお話がありましたが、清須市は「検討していない」と答えられました。

実は、私が住んでいる地区は清須市の中でも、大変高齢化が進んでいる地域でして、買い物弱者が多いです。

そのため、ボランティアの方々が、週に一度ほど買い物ツアーをやってくださっており、7、8人の方が大変喜んでツアーに参加しています。

今は、あしがるバスとレンタサイクルが主な公共交通となっています。これから更に高齢化が進みますと、たとえ有償であっても、公共交通であるタクシーを使ってお買い物に行ったり、病院へ行ったりされると思われれます。

高齢者の方は、比較的、経済的にしっかりしていらっしゃると思いますので、週に1度か2度、ドア・ツー・ドアで行けるということは要望としては非常に高いと感じています。

私も民生委員をさせていただいておりますので、地域の皆さんとお話しする中でそのように感じておりますので、今すぐでなくても構いませんので、今後の課題として検討していただきたいと思います。

●小出主査

先ほど委員からお話がありましたように、タクシーが公共交通であることは私どもも認識しております。

しかしながら、網形成計画の中で、タクシーと関連する事業としましては、タクシー料金助成制度のみとなっております。

本日は多田委員がご欠席ではございますが、本会議に委員として参画いただいておりますので、今後、多田委員を通じて、名古屋タクシー協議会と連携して、清須市において何ができるのか検討していきたいと思っております。

●河口課長

今の佐野委員からのご質問に対して、小出から公共交通の視点から回答させていただきました。

私から補足をさせていただきますと、少子高齢化は全国的に問題となっております。皆さん一度は耳にしたことがあるとは思いますが、国を挙げて地方創生を進めております。

清須市におきましても、「少子化、東京への人口集中をなんとか各地域に分散するために何とかしよう」「人口が減り、人口構成で少子高齢化が進んでいき、買い物弱者が生まれる状況を何とかしよう」と議論しており、清須市の地方総合戦略を策定し、それに基づいてどのようにやっていくのか今年度動き始めたところです。

そのような中で、公共交通の充実や活用も含まれてくると思っておりますので、公共交通の視点ならば先ほど小出が説明したようなことですが、全体的な視野の議論の中では、私が申し上げたとおりなので、そのように理解していただきたいと思っております。

今すぐにとというのは難しいかもしれませんが、検討の土俵には上がっているということをご報告いたします。

●前田会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

●伊藤委員

私は、合併前の春日町の際に社会福祉協議会で、ボランティアで毎週、食事会の送迎の運転手をやったことがあります。

高齢者が多い地区では、必ずしも公共交通でなくとも、社会福祉協議会がバスを持っています。そのバスを使って、無償ではなく100円や200円をもらって、買い物ツアーなどやったら良いんじゃないかと思っております。

●前田会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

〔特に無し〕

それではご質問もないようですので、ここでお諮りしたいと思います。

す。本件に関しまして、事務局案で承認してよろしいでしょうか。

〔異議無し〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項議事（１）を終わります。

続きまして、協議事項（２）「清須市生活交通確保維持改善計画（案）について」の説明を事務局からお願いいたします。

〔協議事項（２）について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、協議事項（２）に関しまして、委員さんからご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

●古田委員

資料の２ページの２（１）「事業の目標」についてですが、先ほどの報告事項での説明ですと、昨年度のサクラルートの利用者数は５．０人となっています。

従って、計画の目標４．４人の数字というのはかなり低い数字となっていますので、もう少し目標値を上げたらどうでしょうか。

●小出主査

ご指摘いただきましたように、網形成計画策定段階では、平成２５年度利用者数を参考に目標を掲げましたので、サクラルートの目標値が低くなっております。

●白木委員（代理）

網形成計画の目標については必要に応じて変更していただければ良いと思いますが、生活交通確保維持改善計画は先に変更した方が良くと思いますので、先行してお願いしたいと思います。

●山田委員

山田です。

今と同じような話ですが、私は目標値が低すぎるのではないかと思います。

以前にも言ったことがあると思います。バスの認知度は少しずつ上がっていますが、この目標値で本当に運営していけるのですか。

もう少し目標値を上げると、事務局も本気になって利用促進に取り組めるのではないかと思います。

●小出主査

目標値につきましては、高みを望みすぎてもいけないということで、網形成計画策定時に、専門部会、本会議での協議の上、利用促進を実施して目標達成出来るような現実的な数値に設定しております。

しかしながら、ご指摘のとおりサクラルートの利用者数が順調に伸びていることから、協議の上検討していきたいと思います。

●加藤副会長

目標は、高い方が良いですね。

網形成計画は計画期間が5年なので、5年後、あるいは2年後ぐらいで方向性をチェックして修正します。

生活交通確保維持改善計画は、毎年、その年から3年の計画を立てるので、網形成計画に比べて柔軟に対応できます。

従って、平成26年度実績からすると、サクラルートは目標を上げなければならないと思います。

認知度の向上については、目標を100%くらいの気持ちを掲げてやらなければならないではないでしょうか。

清須市もそうですが、行政が目標を作ると、弱気な目標になりがちです。もっと強気な目標にしても良いと思います。高い目標を掲げてできなかった方が、前向きな議論ができると思います。

ちなみに、生活交通確保維持改善計画の平成28年度というのは、平成27年10月から平成28年9月を指します。バスの国庫補助金の年度の区切りは10月から9月までなので、一般的な年度とは異なります。

●河口課長

加藤先生のお言葉をいただきまして、生活交通確保維持改善計画については上方修正したいと考えますが、生活交通確保維持改善計画は、今回の会議の承認が必要になります。

皆様のご賛同がいただけるようであれば、サクラルートの目標値をグリーンルートの目標値と同数とさせていただきたく思いますがいかがでしょうか。

〔異議無し〕

●前田会長

ありがとうございます。

それでは、事務局は今後そのような計画案で施行されますことをお願いいたします。

他によろしいでしょうか。

●加藤副会長

新しい委員は網形成計画を持っていますか。机上に配布してありますね。この網形成計画が大事なんですよね。

地域公共交通会議は、法定協議会であって、国の法律に基づいて網形成計画を策定して実行する組織です。

本日ご出席いただいている委員も実行部隊の一人で、諮問機関とは異なります。会議でご意見を言っていただくだけでなく、極端に言うと、ご自身の発言に基づいて実行してもらうこととなります。

だからといって遠慮せずに、前向きにご意見を言っていただいで、やれる範囲でやっていただきたいと思います。

資料5の生活交通確保維持改善計画は、網形成計画に忠実に書いていただいでいて、国庫補助がもらえるものなので、私も事前に確認しています。内容に問題はありませんが、先ほどの目標値だけ上方修正していただきたいと思います。

ちなみに、現在、全国で約40ほど網形成計画が策定されており、清須市は全国的にも早い方で、愛知県では豊山町に続いて2番目に策定しました。

●前田会長

委員さんから色々ご指導いただきました中で、本件に関してのご承認をいただいたことにさせていただきます。

協議事項(2)に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項(3)「コミュニティバスアンケート調査の実施(案)について」の説明を事務局からお願いいたします。

[協議事項(3)について事務局から説明]

●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関しまして、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●伊藤委員

伊藤です。

アンケートについてですが、春日五条川さくらまつりの時にお手伝いさせていただいたのですが、アンケートを書くのに大変時間がかかります。居住地区や年代など、文字を書いていただくのではなく、「○」を付ける方式にしていただきたいと思います。

●小出主査

現状のアンケート調査は、出来るだけお時間をいただかないように、既に「○」を付けていただく方式にしております。

しかしながら、お聞きしたい内容が多いので、アンケート項目が多くなり、時間を要してしまっていると考えているところです。

●前田会長

そのように事務局は考えておりますので、よろしくお願いいたします。他によろしいですか。

●白木委員(代理)

網形成計画を策定しましたので、簡単で良いので、市民の方にアンケートと合わせて周知した方が良いと思います。

また、アンケート項目に利用促進の内容を聞く項目を加えると良いと思います。

●前田会長

ありがとうございます。

それでは、協議事項（3）に関しまして、事務局案のとおりご承認いただくということによろしいでしょうか。

〔異議無し〕

続きまして、協議事項（4）「コミュニティバスの利用促進策（案）について」の説明を事務局からお願いいたします。

〔協議事項（4）について事務局から説明〕

●前田会長

ただ今の説明に関しまして、委員さんからご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

●浅田委員（代理）

愛知県交通対策課の浅田です。

時刻表発行の説明の中で、鉄道駅の時刻表を載せるのはなかなか難しいということでしたが、JR清洲駅等の市内主要駅だけでも時刻表を載せていただくと利用者にとって使いやすいものとなると思いますので、検討をお願いします。

●小出主査

はい。検討させていただきます。

●前田（秀）委員

前田でございます。

アンケートをとるとのことですが、人が移動するときにはお買い物など、目的を持って移動します。

スーパーや病院など、その目的地となる民間企業と、きよすあしがるバスがタイアップして欲しいです。

例えば、前日に予約しておいた買い物が、次の日にバスで持って帰ることができるなど、あしがるバスが地元密着の企業に役に立つような新しいきっかけを作るようなことができると、利用者の促進だけでなく、地域のお店などの地域振興に繋がります。

もう一点、これからは乗客だけが運賃を払わなければならないとは思っていません。来てくれるお店がお金を払ったり、クーポンを渡したりするのはどうでしょうか。

また、利用者の誕生日、夫婦の記念日、お孫さんと同乗するときなどは、無料でも良いんじゃないかと思えます。

そのような今までと少し違ったことを、できる範囲で果敢にチャレンジして、あしがるバスが地域の足となれば良いんじゃないかと思えます。

●加藤副会長

資料7-2に関しては、問題ないと思います。

今も意見が出ましたが、利用促進は、とにかく思いついたらやれば良いと思うんですよ。

この会議自体は、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく公共交通の会議であり、権限は強いです。

愛知運輸支局も柔軟に対応してくれるので、できる、できないとか思わないで、こうしたらあしがるバスをもっと知ってもらえるんじゃないかとか、どんどん言っただけだったら良いと思います。

それを実行するとなったら、委員にもご協力いただきたいと思います。

委員の話になりますが、この会議の委員は、住民や利用者代表であって、市の他の組織を背負っていないと思われれます。

委員の中には、他の組織を背負っている方もある程度はみえると良いと思います。その組織で啓発や利用促進など宣伝をしていただけたらと思います。

地元商店街とタイアップして、クーポンやおまけを渡すことは広く行われていますが、商工会などに引き受けてもらわなければならないので、まずは事務局で消化していただいて、具体的に何が出来るのかということを検討して欲しいと思います。

広告も、利用者に還元出来るものでなければ意味がないとされていて、利用者がこういう会社が協賛しているから、この会社を気にかけてみようと思っただけだったら良いんじゃないかと思います。

広告はビジネスですが、あしがるバスはビジネスではなく、むしろ運動です。市内の老若男女、障がい者、みんなが外出して、清須市を動き回るのをサポートしていくものだと思います。清須のまちをよくするために、これをやっているんだということをもっと前面に出せると良いですね。

●白木委員（代理）

昨年度末に、清須市は網形成計画を策定されましたが、国交省では、網形成計画策定の特典として、利用促進事業に係る経費について補助する制度がございます。

今回議論していただいている、無料デー、時刻表発行、モデルコース設定の3つの利用促進については、事前確認の段階で内諾をしています。来月以降に本申請に入るという流れになっていることをお伝えしたいと思います。

●前田会長

ここでお諮りにしたいと思います。

議事（4）の本件につきまして、事務局案のとおり進めていくということで、委員さんの承認をいただいでよろしいでしょうか。

〔異議無し〕

これで協議事項（４）を終わります。

続きまして、その他ということで、事務局から報告がございましたら、お願いします。

[参考資料について事務局から説明]

●前田会長

ただ今の説明に関しまして、委員さんからご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

●佐野委員

佐野でございます。

最後のあいさつをさせていただきます。

私は、公共交通会議発足時に、女性の会副会長という立場で委員になりました。

どんな形にしろ、委員になったからには住民の声をお届けしなければ申し訳ないという思いで、自分なりに勉強し、毎回会議に出席いたしました。

これまで発言をしなかった会議は一度もなかったと思います。それがせめてもの責務だととらえて参りました。

しかしながら、その意見が有益であったのか、住民の皆様のお役に立てたのか甚だ疑問が残るのですが、そのような7年間でした。

市内にいくつかの委員会や審議会があります。その中には事務局と住民だけで構成されている会もありまして、私としては、せめて1人はその道のエキスパートを入れていただきたいという要望があります。

ありがたいことに、この公共交通会議は、国でご活躍されている加藤先生、また国交省始め運輸という一点で、その道の専門職の委員がこれほど参画してくださっている会議は少ないのではないかと考えております。

加藤先生は、全国の先進事業を含め、会議発足当初から清須市のためにご尽力いただいております。大変ありがたいと思います。

また、専門職の皆さんからのご意見等も、様々な視点から物事を考えられておられ、私は実に多くのことを学ばせていただきました。

このような会議に参画できましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も、この会議がさらに充実したものとなりますようご祈念いたしております。

また、住民の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。以上でございます。

●伊藤委員

伊藤です。

私が委員になったのは、旧春日町のときに福祉関係で会議に参画していて、合併に当たって、旧春日町長から「地域公共交通会議という会議



があるんだけど、委員になってくれないか」ということで、委員になりました。

それから委員の皆さん、事務局には大変お世話になりました。最初の会議はさっぱり分からなくて、何を言っているのかも分からず、おそらく委員の皆様には呆れられたかと思いますが、そんな中で6年間務めさせていただきました。

今年80歳になりますので、この際、若い方に譲ろうと思いました。国交省、警察など関係機関の皆さまには大変お世話になりました。

また、眼科に行ったときにあしがるバスを利用し、つばめ自動車の親切な運転手さんに出会って感激したことを覚えています。ありがとうございました。

#### ●前田会長

ご退任される委員の方には、大変お世話になりました。

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

最後に、確認のために本日の議事について、事務局から報告をお願いします。

#### ●岡田係長

本日は、報告事項の3件、協議事項の4件につきましてご協議をいただきまして、ありがとうございました。

今年度につきましては、協議事項に示したスケジュールのとおり進めていきたいと考えております。

利用促進策につきましては、バスのPRに努めさせていただきたいと思っておりますので、委員のご提案などご協力いただきたいと思います。

最後に、これまで住民委員としてお務めいただいた佐野委員、伊藤委員、また本日ご欠席の小澤委員におかれましては、長い間大変お世話になりました。

今後とも、公共交通関係だけでなく、行政全般に関しまして、お気づきの点等ございましたら、ご意見をいただければと思います。

#### ●前田委員

それでは、委員の皆さんから他に何かございましたらお願いします。

#### ●浅田委員（代理）

愛知県公共交通課の浅田でございます。

佐野委員、伊藤委員のごあいさつの後で大変恐縮ではございますが、県の事業をPRさせていただきたいと思っております。

本日お配りいたしました「エコモビ推進表彰候補団体募集」チラシを見ていただけますでしょうか。

「エコモビ」という言葉を初めてお聞きになった方も多いかと思いますが、チラシにもあるとおり、環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」を繋げた言葉で、クルマと公共交通、自転車、徒歩などを賢く使い分けて、環境にやさしい交通行動を、愛知県では「エコモビ」と呼んでいます。

愛知県では、あいちエコモビリティライフ推進協議会を中心に「エコモビ」を推進しています。

現在、協議会では、「エコモビ」推進のための取組みや、「エコモビ」活動を積極的かつ効果的に行っている団体を表彰する「「エコモビリティライフ」推進表彰の候補団体募集」を6月2日から8月3日まで行っております。表彰の対象となります取組・活動は、チラシの中ほどに書かれています。

過去には、公共交通の利用促進を図った団体ですとか、エコ通勤の推進や自転車利用の推進を行った企業や団体が表彰されております。皆様の周りにこういった活動を行っている団体がありましたらご紹介いただけたらと思います。

裏面に応募の方法も書いてありますので、是非応募していただきたいと思っております。分からないこと等ありましたら、お気軽にチラシにある問い合わせ先までご連絡ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●前田会長

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、平成27年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日は、足元悪い中本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4 閉会（午後4時3分）

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 問い合わせ先 | 企画部 企画政策課<br>052-400-2911 内線1224 |
|--------|----------------------------------|

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 山 田 政 勝

署名委員 谷 野 嘉 一